

授業科目

看護教育学特論

担当教員名 中山 和美、金子 佳世、伊藤 ひろみ (非)	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

看護教育の歴史的背景を踏え、今日の看護教育の特徴を考察する。また看護教育方法ならびに評価について学習する。さらに看護専門職者として生涯学習・継続学習の必要性に気づく。授業方法としては、看護教育に関連するテーマに沿って学習を進め、その成果をプレゼンテーションする。また、その発表を素材にしてディスカッションを行い、さらに学習を深める。

授業の目的

看護教育学に関する基礎的知識を学ぶ。
継続教育の必要性を理解し、生涯にわたって学び続ける姿勢をもつ。

学習目標

1. 日本の看護教育の歴史と関わる法的基盤を知る。
2. 看護教育方法ならびに教授法と評価について理解する。
3. グローバルスタンダードの看護教育を知り、日本の看護教育を考察する。
4. 看護専門職として継続学習の必要性を理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	看護教育の変遷	講義 演習	中山 和美
2	現行の看護教育制度の種類と法的基盤	講義 演習	中山 和美
3	カリキュラムデザイン、3ポリシーの考え方	講義 演習	中山 和美
4	グローバルスタンダードの看護教育	講義 演習	金子 佳世
5	看護教育方法	講義 演習	金子 佳世
6	看護教育方法	講義 演習	金子 佳世
7	看護教育方法	プレゼン 演習	金子 佳世
8	看護教育評価	プレゼン 演習	中山 和美
9	看護教育評価	プレゼン 演習	中山 和美
10	成人の学習理論と学習支援	講義 演習	中山 和美
11	卒後教育	プレゼン 演習	中山 和美、伊藤 ひろみ
12	卒後教育	プレゼン 演習	中山 和美、伊藤 ひろみ
13	継続教育	プレゼン 演習	中山 和美
14	継続教育	講義	中山 和美
15	まとめ これからの看護教育	演習	中山 和美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	看護教育学 (第5版)	杉森 みど里、舟島 なをみ	医学書院	2012年	4,800円	
その他の資料	必要時指示する					

評価方法

レポート (70%) ならびに授業参加度 (30%) で評価します

履修上の留意点

参加型の学習になります。
課題にそって資料を作成しプレゼンテーションをしていただきます。

オフィスアワー・連絡先

メールにて予定を確認しアポを取ってください。
連絡先 nakayama@nuhw.ac.jp